

行政ニーズ、重要施策に 取り組むため組織を見直し

市では、総合計画に掲げる将来像「人 自然 輝きつづける あい甲賀」の実現に向け、常に化する行政ニーズや重要施策に取り組むため、行財政改革を進めながら、市役所の体制整備を進めています。

これまでも、「質の高い行政サービス」と市財政の健全化を図るため、組織の見直しを進めながら、職員数を削減し、歳出の中で大きな割合を占める人件費を削減するなど、一定の成果を生み出してきました。

今後、さらに市民の皆さんに満足いただける市役所をめざし、4月1日から次のとおり組織の見直しを行います。(改編部分だけを掲載しています。)



市の組織を再編

国際陶芸産業都市特区(県版経済振興特区)をさらに推進するため、商工観光課内の特区推進室を部内室として機能を強化します。



地域の特性を活かす 新しい産業の創出、振興 (産業経済部)

定額給付金を適切に給付するため、定額給付金推進室を設置します。



定額給付金事務の 迅速な執行 (総務部)

組織機構改革の主な内容

発達障がいなどの障がいに対する相談窓口を明確にし、専門的な人材の確保、乳児期から学齢期、さらに就労を含む成人期に至るまで、一貫して支援するため、発達支援室を設置します。

上下水道施設の移管調整 (上下水道部)



発達支援の相談窓口の 明確化 (健康福祉部)

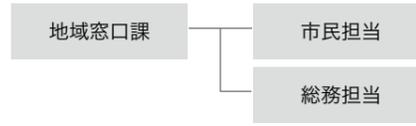
教育基本法や関連法令の改正に対応し、効率で効果的な組織づくりをめざし、市教育振興基本計画を確実に推進するために、教育委員会事務局の組織を再編します。



教育振興の基盤を確立 (教育委員会事務局)

窓口や地域特有の 事務を集約(支所)

4つの支所でも業務を見直します。各支所では、市民・総務の2担当とし、生活に密着した各証明書の発行や申請手続きの受付業務のほか、観光協会など各地域特有の事務を行います。これにより、道路等の維持管理業務や産業振興などの業務は本庁に移行されることとなりますが、各支所が管内で処理する様々な業務を本庁が一括して最少人員で無駄なく行うことができます。ご要望やご相談は、これまでどおり支所窓口でお受けし、支所機能の見直しサービス低下を引き起こさないよう組織全体の機能を強化します。



- 市民担当 従来の市民担当及び保険福祉担当を所管
- 総務担当 従来の総務環境担当、人権担当及び地域振興担当の一部を所管

■従来どおり支所で行う業務 (主なもの)

- 市民窓口業務 ●保険、年金業務 ●福祉に関する届出、申請受付 ●区、自治会、市民活動の支援 ●消防、防災業務 ●公金収納業務 ●人権、同和対策業務 ●生産調整関係、緑の少年団事務などの農林業関係業務 ●観光イベント、観光協会事務などの観光振興業務 ●公共施設の使用予約 ●地域特産品などの振興業務 ●保育園、幼稚園の入園申請受付 ●小中学校の転入転出届の受付 ●農林業に関する補助金申請受付

■取り扱いが支所から本庁へ移る業務 (主なもの)

- 福祉バスの使用許可 ●担い手育成、有害鳥獣対策などの農林業・商工業関係業務 ●農道、林道の維持管理 ●消費者行政業務 ●農地法に関する相談 ●不法投棄、公害などに関する現地調査 ●農林業、商工業の振興関係業務 ●道路、橋りょうの維持管理 ●中山間地域関連(山村振興事業等)業務 ●市営住宅の入居、退居の受付、入居者の募集 ●企業内同和業務 ●就労相談業務 ●公園緑地の維持管理、使用許可

問い合わせ

組織について …… 行政改革推進室 行政改革推進係 ☎ 65-0671 ☎ 63-4554
支所の業務について … 土山支所 ☎ 66-1101 ☎ 66-1564 甲南支所 ☎ 86-8010 ☎ 86-8031
甲賀支所 ☎ 88-4101 ☎ 88-3104 信楽支所 ☎ 82-8061 ☎ 82-0165

市長への手紙



皆さんからお寄せいただいた声

市民の皆さんの声を市政に届けていただくためのひとつに「市長への手紙」があります。

平成17年度から平成19年度までの3年間に約500通を届けていただき、本年度も2月末までに約160通のお手紙が寄せられています。

市長への手紙では、あらゆる分野で市政へのご意見やご提言などが寄せられていますが、なかには、見ず知らずの方に助けていただいたときのお話や差し伸べられる善意への感謝の気持ちを綴られたお手紙などもお寄せいただいています。

今回は、そうした心温まるお手紙をご紹介します。(要約)

●土山町 80代女性

昨年暮れ、JR貴生川駅で京都行の電車に乗り込んだとき、右足が滑り、打つ伏せにこけました。立とうとすると左足からひどく血が流れ、女性の方2人が「止血せんとかかん」と言って、ハンカチで足を押さえてくださり、男性の方が「早く車掌を呼べ、救急車を早く」と対応してくださいました。病院では、10針余り縫いました。私の不注意で迷惑をかけましたが、助けていただき、本当に喜んでます。

心温まるお手紙が寄せられています

今の世の中、暗く悲しいニュースが多い中、こんな年寄りに優しく親切にいただいた多くの方々にお礼を申し上げたくて書かせていただきました。

●甲南町 70代女性

ここを^お家の住家と決め22年。主人は病院へ通い、私も介護の生活をしていましたが、不覚にも足の骨を折ってしまいました。

自動車を持たない私に手を差し伸べてくださる温かい心の持ち主の方がいらっしゃいます。持つべきは友達、ありがたくかみしめています。病院への送り迎えをしてくださり、車イスの私をお風呂に連れて行ってくださるのです。また、ある人はお惣菜を運んでくださり、ある人は「パンはあるか? くだものは? 今日はバラ寿司作ったから」と運んでくださいます。ここはまだまだ人情のあるまち、いい友達に恵まれてうれしいです。若い人は、おばあちゃん買い物あったら帰りに買ってくるからと。こんなときこそ、人の心の温かさが分かります。皆さんありがとう。

こうしたお手紙に中嶋市長から心癒される思いや助け合い支え合える人間味溢れるまちであることの喜びをお手紙に綴り、返信をさせていただきます。